

第29回青森県食の安全・安心対策本部会議（令和2年7月28日開催）  
意見交換（テーマ：「食の安全・安心」と新型コロナウイルス）  
を踏まえた県の取組等について

意見等	左記に関する県の取組等
<p>○青森県薬剤師会食と水の検査センター 川村委員</p> <p>農水省ホームページでも「食品からコロナ感染した事例報告はありません」という内容が連日アップデートされている。</p> <p>県民の食に対する不安を払拭するためには、食品からの感染はないということを、色々な機会を通じて発信していく必要がある。</p>	<p>食品リスクに関する正しい情報発信の取組の一環として、毎年実施している「食の安全・安心に関する意識アンケート」に、今年度から新たに『解説編』を加え、食中毒予防のために実施している一般的な衛生管理が行われていれば、食品や食品の包装を介した新型コロナウイルスの感染リスクはないことについての理解促進を図ったところ です。</p>
<p>○青森県畜産農業協同組合連合会 山内委員</p> <p>コロナ関連予算の中で、国庫補助が3つ（牛肉、ホタテ、シャモロック）あるが、学校給食提供に関しては、小さい頃から県産品を口にするというのは長い目で見て必ずいい結果が出てくると思うので、牛肉に限らず、他の県産品でも、今後のことを考えてやっていただければと思う。</p>	<p>県では、県産利用率の低い食品群の供給拡大に向けた検討会議や、学校栄養士等を対象とした研修会、県産加工品の展示・試食会に取り組み、学校給食への県産食材の利用向上に取り組んでいるところです。</p> <p>幼い頃から県産品に馴染みをもってもらい、将来に渡って県産品愛用に繋がるよう、引き続き、産地や流通・加工業者等も交えた取組や、県産加工品の開発に向けた検討などを進めて参ります。</p>